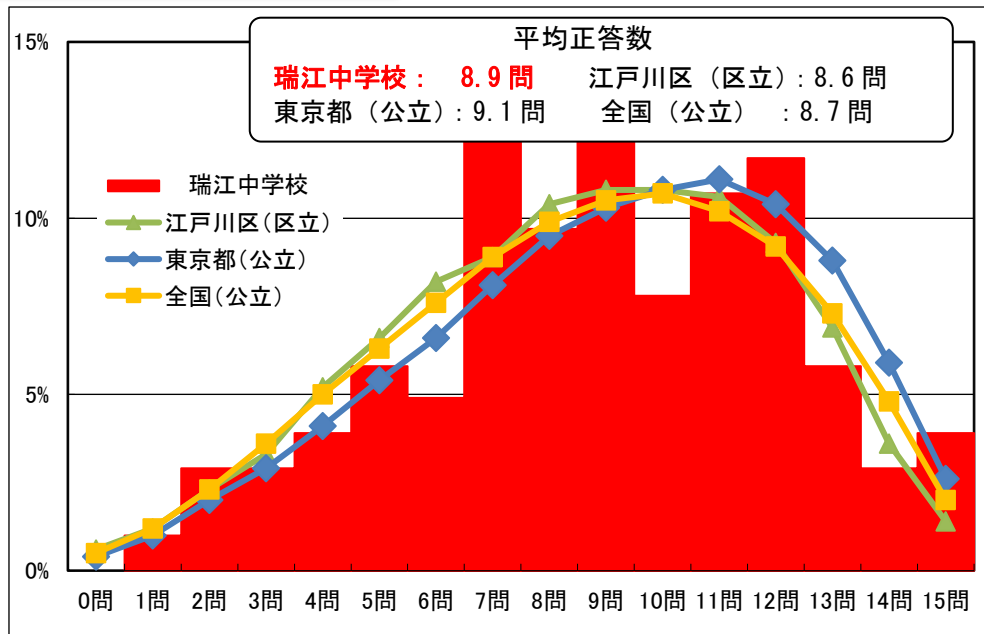
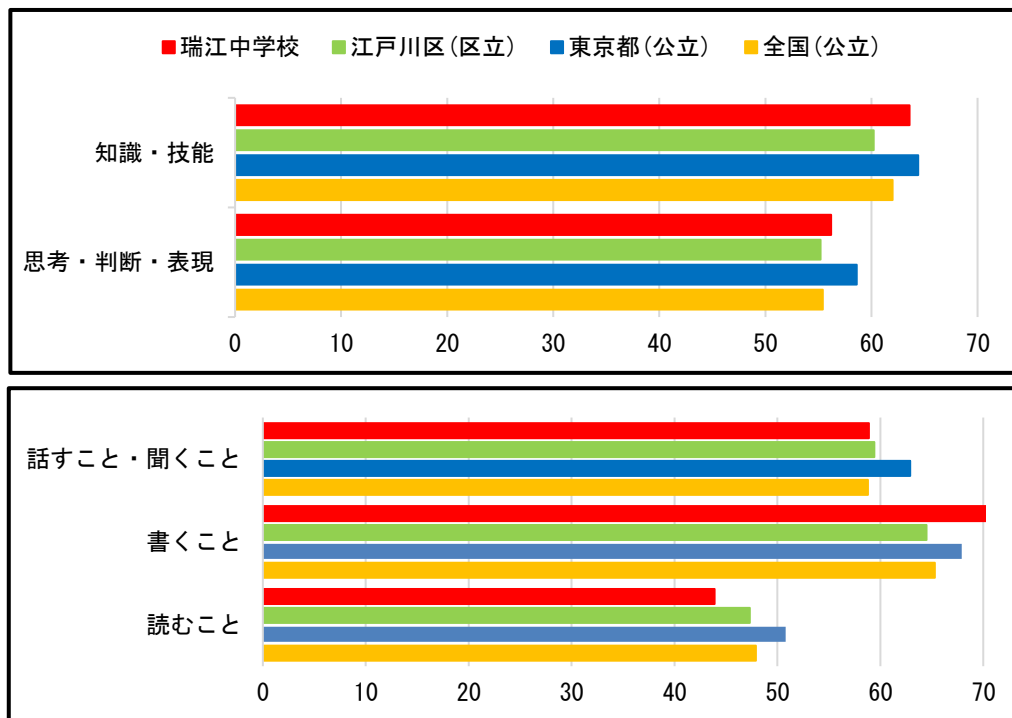


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 瑞江中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	← 上位 → ↓ 下位 ↓			
	A層 12～15 問	B層 9～11 問	C層 7～8 問	D層 0～6 問
瑞江中学校	24.2	32.0	22.3	21.3
江戸川区（区立）	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都（公立）	27.7	32.2	17.6	22.5
全国（公立）	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

瑞江中学校	59%
江戸川区（区立）	57%
東京都（公立）	61%
全国（公立）	58.1%
都との差	-2ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

都の平均正答率には2ポイント及ばなかったが、区や全国平均正答率を上回ることはできた。特に「書くこと」の要素をもつ問題への正答率が高かった。授業で感想文や意見文等を書く時間を取り入れた成果が表れている。

一方で「読むこと」の要素をもつ問題への正答率が低かった。このことから文章中から必要な情報を取り出せるようになることが課題であるため、感想や読んだ文章の構成を考える授業や筆者の主張を要約する授業を今後行う。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。